

# 文化の継承 ～故 新井弘順氏 追悼演奏会～

お 話 スティーブン ネルソン 法政大学教授

聲 明：<sup>じょうらくえ</sup>「常楽会の声明」<sup>ねはんこうしき</sup>—涅槃講式・<sup>しかほうよう</sup>「四箇法用より—」

新井 弘賢

新井 弘恵

お 話 内田 亜希 前田流平家詞曲相伝

平 曲：<sup>しょうひじ</sup>「小秘事」<sup>しんぐわんしやう</sup>「祇園精舎」の冒頭 平家物語巻之一

<sup>こくそろえ</sup>「五句揃」<sup>こうやのみき</sup>「高野巻」 平家物語巻之九

新井 泰子

前田流平家詞曲相伝

三ヶ島、宝玉院の住職をお務めの傍ら、声明では世界的に活躍しておられた新井先生が、仏様の世界に帰られました。聖グレゴリオの家との関係は、現在住職を務められるご長男の弘賢様が多分幼稚園に入られる前、音楽幼児クラスに来られたことからでした。当初、声明の大家とは露知らず、小さい弘賢さんの送り迎えをなさっておられる優しいお父さんと思っておりました。だんだんとお話をする機会も増えて声明豊山派の方であることを知り、教会音楽夏季講習会で声明についての講演と実演をお願いしたのが、そもそもの始まりでした。以来コロナの感染拡大が問題になるまで、24年間も「日本の伝統文化継承」と題してグレゴリオの家の聖堂で講演を、奥様の泰子夫人の平家琵琶との共演で続けてくださっていました。ご一緒に声明とグレゴリオ聖歌の貴重な体験を何回もさせていただきました。新井先生は声の良い方でした。その声はひときわよく響いて聴く人の心をとらえてしまう技でした。多分それは先生のお人柄にあったのでしょうか。わたくしは、宝玉院にお邪魔する機会が何回もありましたが、心身ともに癒される自然の空気にあふれたお宅でした。そのことは先生の声明を歌われる時にも、心と身体から溢れ出ていたのだと思います。

貴重な存在の方でした。ヨーロッパの音楽だけでなく、演奏とは演奏者のその時の状態が表れるものであることを教えられておりました。それは日々の訓練もさることながら、その方の心身共の存在の在り方が大きく影響していると常感じておりました。新井先生、三途川のむこうでも日々声明を歌ってください。お声が俗世界のわたくしたちに聞こえますように。

ご冥福をお祈りいたします。これからも先生が築きあげてこられた「日本の伝統文化継承」を継続していきたいと考えております。天の国からお守り下さい。 橋本周子

## 2022年12月11日(日)15:00開演

### 聖グレゴリオの家 聖堂

《入場料》 1,000円

お申込み・お問合せ

**聖グレゴリオの家 宗教音楽研究所**

電話: 042-474-8915 電話受付 9:00~17:00

FAX: 042-474-8832 (土日祝祭日お休み)

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台 2-7-12

<https://st-gregorio.or.jp>

